

■遠山景元(金四郎)
とおやまかげもと
松平定信引退1793＝

北町・南町奉行。〈天保の改革〉に際して、人情ある差配を行ない、名奉行“遠山の金さん”に。

__代々左衛門尉を務めて金四郎を名のる者の多い家に生まれる。

一九膝栗毛始1802＝ 9歳：

青洲麻醉手術1805＝12歳：幕府が父景晋を長崎に派遣し、レザノフに通商拒絶の旨を伝え、西蝦夷地巡検を命ずる。

浮世風呂・・1809＝16歳：通称の金四郎に改名。

ゴロブニ拿捕 1811＝18歳：
__家庭の事情から家を飛び出して無頼の仲間入りをするものの、
__父が大田南畝と親しかったことから彼に可愛がられ、

水野忠成老中1818＝25歳：

・・・・・・1820＝27歳：

シボク来日・1823＝30歳：__大田の死去に衝撃を受けて、足を洗って家に戻り、

異国船打払令1825＝32歳：__小納戸として出仕、

シボク事件・1828＝35歳：

シボク追放・1829＝36歳：__父の隠居により、家督を相続。

鼠小僧磔・・1832＝39歳：西ノ丸御納戸頭取、

滑稽+人情本 1835＝42歳：小普請奉行、

大塩平八郎乱1837＝44歳：作事奉行、

適塾ホヰン・ 1838＝45歳：*父が死去。水野忠邦に抜擢されて勘定奉行公事方となり、

勸進帳初演・1840＝47歳：__北町奉行に昇進。

天保改革始・1841＝48歳：*將軍家慶の「公事上臆」の折、その吟味のたくみさを將軍から絶賛され、奉行として高い評価を得た。この年始まる天保改革の株仲間解散に反対し、内命をうけながらしばらく握りつぶしていたため差控をうけたことがあり、老中水野忠邦や南町奉行の鳥居耀藏とことごとく意見が対立。

天保改革弾圧1842＝49歳：柳亭種彦を裁かざるを得ないハメに陥り、その結果彼が自殺するという無念の中、

順天堂始・・1843＝50歳：__ついに大目付に配転されたが、直後に忠邦が失脚して、

阿部正弘首座1845＝52歳：*一旦老中に復帰した忠邦が南町奉行の鳥居を罷免し、その後任に任じられるという異例の人事を受けた。

・・・・・・1847＝54歳：
__その後も人情ある差配を行なう名奉行として知られ、奉行所内でも大岡忠相以来の裁判上手の評判。

万次郎帰国・1852＝59歳：*病を理由に職を辞して隠退、剃髪して、

ペリー来航・1853＝60歳：

安政大地震・1855＝62歳：__没した。

肩から腕に桜花の刺青のある“遠山の金さん”として芝居、講談、テレビなどで著名。